



請願第10号

2018年11月29日

二本松市議会議長 本多勝実様

二本松年金者の会

会長 真弓五郎



紹介議員

齋藤 弘二

国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める請願

国保制度は、国民の4人に1人が加入し、国民皆保険の医療制度の重要な柱になっています。ところが滞納世帯が全加入者の15%を超えるなど、高すぎる国民健康保険料税に住民が悲鳴をあげています。

国保の加入者構成（市町村国保に全国で約3500万人）は、かつては7割が「農林水産業」と「自営業」でしたが、今では、43%が年金生活者などの「無職」と34%が非正規雇用などであわせて8割近くになっています。

協会けんぽや組合健保に比し、国保は加入者の「所得が低いのに保険税がいちばん高い」になっており、庶民に大変重い負担を強いる制度になっています。

私たちは高すぎる国保税を引き下げ、国保の構造的な問題を解決するには、公費を投入するしかないと考えています。全国知事会・同市長会・同町村会が国保の定率国庫負担の増額を政府に要望し続けており、2014年には、公費を1兆円投入し、「協会けんぽ」並みの負担率にすることを政府・与党に求めています。

1984年以降、国庫負担の削減・抑制で国保に対する国の責任が後退する中、今年、約3400億円の財政支援が行われましたが不十分です。国保加入者の貧困化・高齢化・重症化が進む中で国保税の高騰が止まりません。

高い国保税になる要因に、世帯の人数が多いほど（たとえば子どもの数が多いなど）国保税が引きあがる「均等割」があるからです。これは「子育て支援・少子化対策」に逆行するものです。家族の人数が保険税に影響するのは国保だけで、「平等割」同様ほかの保険にはありません

「均等割」と各世帯に定額でかかる「平等割」とあわせると、全国で徴収されている保険税額は、およそ1兆円とされています。1兆円の公費投入で「協会けんぽ」並みの保険税になります。

以上の趣旨から以下の項目の実現を強く求め、地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関に意見書を提出下さるよう請願いたします。

請願事項

- 1、国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税を引き下げてください。

以上



国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税の引き下げを求める意見書(案)

国保制度は、国民の4人に1人が加入し、国民皆保険の医療制度の重要な柱になっています。ところが滞納世帯が全加入者の15%を超えるなど、高すぎる国民健康保険料税に住民が悲鳴をあげています。

国保の加入者構成(市町村国保に全国で約3500万人)は、かつては7割が「農林水産業」と「自営業」でしたが、今では、43%が年金生活者などの「無職」と34%が非正規雇用などであわせて8割近くになっています。

協会けんぽや組合健保に比し、国保は加入者の「所得が低いのに保険税がいちばん高い」になっており、庶民に大変重い負担を強いる制度になっています。

私たちは高すぎる国保税を引き下げ、国保の構造的な問題を解決するには、公費を投入するしかないと考えています。全国知事会・同市長会・同町村会が国保の定率国庫負担の増額を政府に要望し続けており、2014年には、公費を1兆円投入し、「協会けんぽ」並みの負担率にすることを政府・与党に求めています。

1984年以降、国庫負担の削減・抑制で国保に対する国の責任が後退する中、今年、約3400億円の財政支援が行われましたが不十分です。国保加入者の貧困化・高齢化・重症化が進む中で国保税の高騰が止まりません。

高い国保税になる要因に、世帯の人数が多いほど(たとえば子どもの数が多いなど)国保税が引きあがる「均等割」があるからです。これは「子育て支援・少子化対策」に逆行するものです。家族の人数が保険税に影響するのは国保だけで、「平等割」同様ほかの保険にはありません。

「均等割」と各世帯に定額でかかる「平等割」とあわせると、全国で徴収されている保険税額は、およそ1兆円とされています。1兆円の公費投入で「協会けんぽ」並みの保険税になります。

以上の趣旨から以下の項目の実現を強く求めるものです。

記

- 1、国庫負担の増額で高すぎる国民健康保険税を引き下げること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年12月 日

内閣総理大臣 安倍晋三 様
財務大臣 麻生太郎 様
厚生労働大臣 根本 匠 様

福島県二本松市議会議員 本多勝実